人件費

(23.0%)

132億335万円

義務的経費※1

扶助費

(10.5%)

60億2968万円

23億7513万円(4.1%)

573億

8895万円

公債費 97億366 (17.0%

その他

繰出金 43億1133万円

(7.5%)

補助費など 62億6163万円 (10.9%)

物件費

(9.8%)

災害復旧事業費

9億2209万円(1.6%

56億540万円

その他

の経費

投資的経費※2

残高見込みは、3万1116円かは、表2のとおりです。19年度かは、表2のとおりです。19年度の入れおよび年度末現在高見込い。

その支出が義務付けられ任意に削減を必の賞還金)―を合計したもので債などの償還金)―を合計したもので報酬など)②扶助費(生活保護費や複報酬など)②扶助費(生活保護費や複報酬など)の決助費(生活保護費や複数

れ任意に削

用語の解説

表3のとおりとなっていたのとなりました。 います。

要する経費

の建設など、

、社会資本の整備に道路、公園、学校、公園、学校、公園、学校、公園、学校、公園、学校、公園、学校、公園、

公

※3自主財源:

市税や

使用料など

※2投資的経費:

◎問い合わせ先 本庁財政課財政係

(債など) (債など) (できる財源・・・地方交付税、国・県支出金など国や県から交付される財源や市金など国や県から交付される財源や市場では、10円である。) (できる財源) (できる財源) (できる財源) (できる財源) (できる対象) (できるが、対象) (できなが、対象) (できなが、対象)

在の収入額は475億866 支出額は461

億7331万円 6

です。これに対する3月31日現内訳は、上の円グラフのとおり出を経済的性質を基に分類した で、予算に対する執行率は8・5 3億8895万円。このうち歳

は、表1のとおりです。 9月31日現在の歳入歳出の状況19年度の一般会計最終予算と 般会計の最終予算額は57

表2■地方債借り入れと年度末現在高見込み 河円

表 1 ■一般会計の歳入歳出状況

市税

自主財源

繰入金

諸収入

その他

市債

地方交付税

国庫支出金

地方譲与税·交付金

県支出金

区分

農林水産業費

総務費

民生費

衛生費

商工費

土木費

消防費

教育費

公債費

その他

災害復旧費

分担金及び負担金

使用料及び手数料

入

120億6206

4億5559

13億5145

8億3624

5億1698

21億9617

210億6178

62億2397

57億8538

40億5281

28億4652

573億8895

予算額

65億2659

109億9613

56億 91

42億3605

14億9022

74億 630

24億9874

73億7665

9億4215

97億3697

5億7824

573億8895

歳

出

(単位:万円、%)

94.7

88.9

89.8

96.5

90.3

100.7

102.3

11.2

69.4

58.8

85.0

82. 9

執行率

82.6

91.7

61.0

76.9

87.7

58. 1

89.7

76.8

39.8

99.0

85.1

80. 5

(単位:万円、%)

収入済額 収入率

114億2666

4億 505

12億1344

8億 703

4億6699

22億1181

215億3760

6億9880

40億1623

23億8396

24億1909

475億8666

支出済額

53億8850

100億8342

34億1421

32億5820

13億 708

43億 667

22億4071

56億6776

3億7459

96億3986

4億9231

461億7331

我と = 20万月日 ファイル マールスパッルエロルルとい	
18年度末現在高	795億8610万円
19年度中借り入れ見込み額	62億7457万円
19年度中元金償還見込み額	82億2768万円
19年度末現在高見込み	776億3299万円 (615億7599万円)
市民一人当たり残高貝込み	63万1116円

(50万 581円) ※()は、元利償還金の全額が地方交付税として交付 される臨時財政対策債、減税補てん債などを除いた 公共事業に充てた市債の額

表3■特別会計の歳入歳出状況 国保(事業勘定) 国保(直営診療施設勘定) 6億9911 3億5577 老人保健 3060 介護サービス事業 4652 土地取得事業 371 1050 926 金沢財産区 土地区画整理事業清算 46 9683 都市施設等管理 1億 268 工業団地整備事業 1億1518 7199 4270 市営バス事業 1億3568 5億1470 簡易水道事業 21億8033 下水道事業 40億8561 12億7532

農業集落排水事業 2億9687 4742

(単位:万円) 123億7739 105億8579 112億170 6億 862 120億8503 104億1919 109億3031 4386 371 137 5221 1億1145 1億2154 16億7864 26億 711 2億8464 浄化槽事業 2億2996 5526 1億6385 2644 物品調達 4237 2627

いります。業や企業誘致施策に生かしてま びいいがりません。防犯灯の設置については、民 んめにも設 (代·女性) 解をお願いします。 うした図書は新刊コーナー 気を集めることから、複数冊なっています。話題の図書は ものが多い状況です ち着く暇もなく貸し出 られるよう努めて ろえるなど利用者の要望に応え います ので、ご しとなる ر د 理

活用しながら、図書館の一層のりました。これらのシステムをの検索や予約ができるようにな できるようになりました。また、の図書館での受け取りや返却が検索や貸し出しの予約、最寄り インターラ新しいホー 月から管理運営システムを導なお、市立図書館では、昨年 し、市内7館のすべての蔵書 ネッ ムペー トを利用した蔵書 します -ジを開設 返 最 感 を 昨 年 り の 入 10

1日号から「図せご利用をお願い」 各館持ち回りで掲載します ご覧くださ ト案内などを、毎月 案内や新着図書の紹介、イ ージを設けます。図書館 から「図書館だより」。 仏報いちのせきで、7g 分すので日号に 0 の月 利

、公平に ただし、この場合にも▽廃プラ は例外として認められています。 やむを得ない焼却などについて やもみ殻、草など農業のための 生活環境保全条例により基本的 スチックやゴム、油などのごみ

しては、 児童生徒の通学支援につきま 、国にお 義務教育であり、 ほし いて、児童生徒の

(千厩·30代·男性)

対処しの生徒

と―とされています。 や火災には十分注意して行うこ

付けなどに大変貴重なア したご提案は、工業団地の

の団

冊、貸し出しは約20万5千冊と年間に受け入れる資料は約5千

を一緒に燃やさないこと>煙害

備を進めています。いただきま

収集を心掛けています

関図書館を例に取りますと

魅

の生徒と無料の生徒がいる。中ら乗車するにもかかわらず有料 スを利用する際、同じバス停か千厩中学校区で通学に市営バ

度一部分譲開始)を目指して整定開発企業の集積を目指す団地然環境の中で付加価値の高い研然環境の中で付加価値の高い研然環境の中で付加価値の高い研が開発工業団地(仮称・一関研

ため、できるだけ幅広い資料のんの多様な読書の要求に応える市立図書館では、市民の皆さ

ただき、ありがとうござい

11

つも市立図書館をご利

利用い

(一関·40代·男性) ような気がする。 います。

の中から紹介します。昨年度下半期に寄せら

ħ

たも

こほしい。 いて、市と-

外焼却は、廃棄物処理法や

ただき、ありがとうございます。

ほとんどない

の食材に最高の賛辞をい

(市外·50代·男性)

ている、いわするうごにないつ行っても今話題にな

わゆる売れ筋の本が

市立図書館の新刊コーナー

なった

(一関・女性)

ついて、市としても対応を考え周囲に迷惑にならない草焼きに

供する施設の整備を提案する 食材による食事を地域の方が提

いて黒くなったりして迷惑する。なかったり、洗濯物にすすがつ

設が少ない

。このため、団地内ま

たは近隣に、地域だけで採れ

る

します

内には食事を提供する専門の施 とのことだが、多くの工業団地

を促進していますので、ご要望

市では、この補助により設置

治会で協議いただくようお願いにつきましては、地元の民区・自

て部屋の空気の入れ替えができ

ヽw - 。 など、市民生活全般にわたって ともの安全対策、市職員の接遇

住宅や公園の整備、道路整備、子サービス、市街地の活性化、市営

境やごみ・環境問題、保健・福祉

られました。その内容は、教育環

行われると、煙が家に入ってき険があり危険。また、暑い日中に田の土手の草焼きは火災の危

に新たな工業団地が整備される

食材がどれも素晴ら-市内の道の駅や商店で

市

内の道の駅や商店で購入する

数年後に移住する計画でい

。 る。

囲内で補助するものです。電気料の全額を、市が予算の範する費用の2分の1と設置後の具体的には、防犯灯の設置に要

関市内に土地を購入済みで

づ

いて補助金を交付して

ます

272項目のメッセージが寄せ 19年度1年間では、207通

として平成17年12月にスター

いて、市長に気軽に伝える機会 たこと、あるいは提言などにつ

した「市長へのメッセージ」。

ご理解をお願い

します

での距離によりますことからかについては、自宅から学校・

ま

距離によりますことから、

日ごろ感じていることや気づい

を基本としています。

全への配慮を一層お願いします。化促進のほか、周囲の環境と安ます。農家の皆さんには、たい肥

ます。農家の皆さんには、たい肥さらに注意を呼びかけてまいりとから、今後も機会をとらえて

置してほしい。があり暗い。防犯のも

た

関 30

道路に街路灯が少な

きたところですが、同様の苦情いちのせきなどでお知らせして

ちのせきなどでお知らせして市では、これらについて広報

が比較的多く寄せられているこ

通学支援の対象となるかどう

市民の皆さんが市政に関して

X 9 20-

200

心身や体力の状況などを考慮し、心身や体力の状況などを考慮し、 ロメートルマ中学校生徒は6キロメートル―以上を遠距離通学 すとして、スクールバスの利用 や通学費支援の対象と定めている。本市においても、この基準

3